成田市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体第９回会議　議事録概要

１　開催日時

平成31年１月30日（水）　午後２時00分から午後３時55分

２　開催場所

成田市役所 議会棟 執行部控室

３　出席者

（委員）

西田委員、小林委員、佐藤委員、大木委員、西村委員、宮﨑委員、但野委員、山下委員、高木委員、高橋委員、宮下委員、沓掛委員、山根委員、岩澤氏（野平委員代理）、北村委員、以上15名（欠席なし）

（事務局）

髙田福祉部長
三橋介護保険課長、椿高齢者福祉課長
平岡主幹、太田主幹兼地域包括ケア推進係長、渡未副主幹、
社会福祉協議会地域福祉係武田係長
小野生活支援コーディネーター（第１層）
大麻生活支援コーディネーター（第２層）

４　会議次第

１　開会
２　委嘱状交付
３　福祉部長あいさつ
４　議題
（１）生活支援コーディネーター活動報告及び買物アンケートの実施状況について
（２）市民フォーラムの開催について
（３）意見交換
５　その他
６　閉会

○開会　介護保険課主幹兼係長

委員皆様の任期（2年）が12月で満了。本協議体発足当初より運営にご尽力いただき感謝する。事務局としては、生活支援体制の整備に向けて、今後も、更なる情報共有、新たなサービス構築に向けた議論を重ねていくには、次期任期においても協力を得たく引き続き再任をお願いする。高齢者クラブ連合会は但野副会長が、成田市シルバー人材センターは山下事務局長が委員を引き継い

だ。委員へ委嘱状を交付する。郵便局の野平委員は本日欠席だが、選出団体から岩澤成田玉造郵便局長が代理で出席。委員 15 名中全員が出席により会議は成立した。本日の傍聴者はなし。

〇福祉部長挨拶

●委員長挨拶

〇介護保険課主幹兼係長
　配布した席次表に事務局、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会の職員を掲載してあるので、ご覧いただき紹介とさせていただく。本日の資料の確認。

●これより委員長が進行
　まず始めに、生活支援コーディネーターの活動報告、買い物アンケートの実施状況について報告をお願いする。

〇生活支援コーディネーター活動報告（第 1 層生活支援コーディネーター）
　平成 30 年度の生活支援コーディネーターの活動実績（11 月～1 月）報告をする。社会資源の調査として買い物アンケートを調査しているが、まだ最終的なものではなく、経過報告として報告させていただく。別紙資料「ご近所買い物事情及び移動に関するアンケート経過報告」の説明。「アンケートの結果」について、回収数は 1440 件、回収率は 61％となっており、その内訳は独居高齢者の方 908 人、65.2％。民生委員の方々に大変お世話になりこれだけ回収できた。要支援者は 327 人、51.5％、百歳体操 205 人、56.9％にアンケートを実施することが出来た。
　次にアンケート結果から導き出された提案事項について、アンケートを集計することで 2 つの課題が出てきているので説明する。1 点目として、ご近所買い物ツアーの実施が必要、2 点目は宅配サービス・移動販売の広報活動が必要と 2 つの課題が出てきた。ご近所買物ツアーの実施が必要なのは、成田地区の希望が多いのでモデル事業としてご近所買い物ツアーを実施を提案する。すぐ実施する場合は予算がないので、社会貢献で予算がつくまでの間、対応していただくしかない。この事業は参加者同士の繋がりが重要であるため、大きな広域ではなく、自治会単位の狭い地域を考えた方が良いと思われる。具体的な案を別紙で説明。買い物ツアーは企業の協力と住民の協力がなければ成り立たない。住民の方の希望のアンケートはとったので、次に企業へアンケートをとっていきたい。
　次に、「宅配サービス・移動販売の広報活動が必要」ということで、市と移動

販売の業者で見守り協定を締結して、リアルタイムな情報提供が受けられるようにしていただきたい。広報活動で、見守り活動の視点での移動サービスという事を住民の方に理解してもらい、そういう視点で敷地内への立ち入りの許可を考えていただきたい。宅配サービスについても要望が多かったので、宅配マップの作成、配布を実施していきたい。
　次に、生活支援コーディネーターの活動実績の報告について。提案事項で、29 年 11 月にこの協議体で提案した介護支援ボランティア活動支援事業について、現在施設のみに適応するボランティア活動のポイント制度で、それだけではもったいない。地域の活動について広げたらどうかという事で提案した。市の進捗等ご説明していただきたい。

○事務局
　現在の介護支援ボランティアの対象は介護施設もしくは介護事業者が登録を市にしていただき、社会福祉協議会のボランティアセンターにボランティア登録された方が登録された施設に行ってポイントを付与している状況。現在、障がい者施設等に拡充していけないか検討している。コーディネーター提案の地域のボランティア等に関しての拡大はこれから検討していかなければならない。財政的な面、予算の事があるので協議していく。

○生活支援コーディネーター
　制度について市のほうで検討を続けていただきたい。協議体としての市に提言する事の一つに入れていただけたら良い。
　次の提案事項のゴミ出し支援についてというところで、「ご近所の底力、ご近所総出のゴミ出しで支えあい」という講演会を実施する。講演会を開催するにあたって、各市町村の取り組みを調査したところ、日野市のハンディキャップボックスシールという活動について注目した。ハンディキャップがある方は事前に登録して、ハンディキャップボックスを日野市からもらう。そうすると集積日以外の日でもこのボックスに入れておけば、集積日に持っていってもらえる。このサービスを成田市で検討していただけたら良いのではないか。「ゴミ出しで支えあい」という講演会を 2 月 13 日の水曜に実施。講演会の目玉は先進地の報告という事で、千葉市のマンションの自治会のゴミ出しの支援を千葉市の方から報告していただく。もう一つは木更津市の太田中学校の中学生がゴミ出し支援の活動をしており、木更津の包括の職員と担当している民生委員に報告していただく。現在申し込みが数名程なので、是非 PR していただきたい。

●委員長
　まずアンケートの内容から皆さんのご意見をお聞きしたい。疑問や質問は無いか。アンケートを踏まえて具体的な対応策を 2 つ提案していただいた。1 つ目

は買い物ツアーの実施、2 つ目が宅配サービス・移動販売の広報活動。まず一番目の買い物ツアーの内容だが、買い物ツアーが必要というのはアンケートの内容を見て分かると思うが、実際企業のアンケートの内容も含めていかがでしょうか。

●委員
企業へのアンケートだが、社会福祉法人と医療法人と株式会社と書いてあり、裏に会社名が書いてあるが、介護事業所とセレモニーホール、イオン、ヨーカドーとあるが他は無いか。

〇生活支援コーディネーター
リストにあるのは介護事業所関係と葬儀屋、イオン。あとは分からないので、市役所のホームページに同じような文章を記載していただいて、回答いただいても良いかと思う。

●委員
NHK のテレビで見たが、若年性の認知症の方が企業と繋がって、そこで働く場があったりということ、企業も色々な事業所に聞いてみたらどうか。自動車会社だと大手のトヨタや日産は社会貢献に力を入れている。成田であればホテルもたくさんある。介護保険以外の事業所以外にも社会貢献と言ったところでアンケートを入れ、聞く対象にしてはどうか。

●委員長
リスト作成のルールを決めていかないと、企業もたくさんある。検討が必要。

●委員
具体的にいつ頃までに収集するのか。

〇生活支援コーディネーター
3 月にフォーラムがあるので、企業のアンケート報告をしたい。2 月中旬までには調査できたら良いかと思う。

●委員長
そうすると限られたところになる。もう少し後でも良いかと思う。そこまでに報告したほうが良いか。盛りだくさんすぎても分かりづらくなりそう。

〇生活支援コーディネーター
買い物ツアーは企業の協力が無ければできない事業なので、企業のご意向を

分かっていた方が、フォーラムの時の報告には良いかと思っている。

●委員
なぜ成田を選ばれたのか。この事業をやる時にこういうことだから、選んだときちんと説明をしないと。説明がしっかりしないといけない。

〇生活支援コーディネーター
字別の数で成田地区が多かったということ、モデル事業をする時に事業のまとめを掌握する必要がある。2 層のコーディネーターが成田地区に配置されたという事もあり、2 つの理由から成田地区が良いかと思った。

●委員
私たちは何回も聞いてある程度分かるが、全く初めて来た人が聞いた時に、きちんと説明していただかないといけない気がする。移動販売の話になると業者が絡むのでもっと具体的な生々しい意見が出てくると思う。その辺のところでぶれないように話してほしい。

●委員長
今回のフォーラムでは、どこまで具体的な内容で提示する予定か。成田地区でモデル事業をする報告ではなくて、この内容からご近所買い物ツアーの実施が必要、宅配サービス・移動販売の広報活動が必要だという話で終わると思っていた。

〇生活支援コーディネーター
今回のアンケートは 200 名の民生委員が動いている。それぞれに住民の方の反応も把握しているので課題が出たことで終わりにしてしまうと、民生委員は一体何のためにアンケートをとったか、具体的な案は無いのか、などと思われるので、できるだけ具体的な対策についてお話をさせていただき、その場で住民の方からご意見等いただきたいと考えている。

●委員長
そこまでの時間がとれない。活動報告して、そこまでの意見が出てディスカッションする時間がとれない。民生委員が対象のフォーラムではない。内部的な提案を考えているというのは別枠で作ってはどうか。

〇生活支援コーディネーター
フォーラムが終わった後に報告という事で 10 分のお時間をいただいているが、できれば 10 分の時間をシンポジウムの中に入れ込み、時間の中で具体策の提案

をして、できれば市民の方から直接、少しでも意見をいただきたい。なかなか市民の方から直接ご意見をいただく場がないので、フォーラムというのはそういう意味では良い機会と思っている。

●委員長
ご近所買い物ツアーの実施が必要ですという問題提起を投げかけて、意見をもらうのでもいいのではないか。

○生活支援コーディネーター
ツアーを成田地区に限ってと伝えるのか、そうじゃなくて、ツアーをやりたいと伝えるのかは定まってないが、具体的にこんな感じに買い物ツアーを考えているというところまでは伝えた方が良いのではないか。

●委員長
それも一つの案であって、そこが強調されるのではなく、一番上の買い物ツアーの実施が必要で、広報が必要だということがメインになって良いと思う。

●委員
コーディネーターがどこまでやるかだが、この委員会の中で何が必要かを議論するのではないのか。コーディネーターがこうしたいという意見は大事だが、この中で揉んで、どうするかというやり方が良いのではないか。結論はある程度これだと思うというのが出てしまっていて、それは皆さんで何回も意見を交わしたものだったのか、何も案が出ないからコーディネーターが頭を絞って、アンケートと提案までしたものなのか。その辺がわからなくなっている。

●委員長
恐らく提案なんでしょう。今回の内容としてはこれをどう具体化するかという案に練っていく。あまり具体的なもので、こうした方がいいというのは小野さんの思いが入っていることが多いので、それをここで整理をし直して具体策に持っていく方がいいかと思う。今回はおおもとのこれが必要なんじゃないかと、生活コーディネーターとして一番上の問題提起で終わらせた方が、今後、繋がっていくのではないかと思っている。それも踏まえて企業のアンケートも急がず、今回はここまででフォーラムに持っていけるといい。もう少し整理をして進めて、どこまで企業のアンケートをとるかやっていくと良い。

○生活支援コーディネーター
企業のアンケートも今後ということか。

●委員長
そうですね。2 月ではなくて、もう少し後でこちらの具体的な案も見ながらで。

●委員長
ご近所の買い物ツアーの案も具体的な案をいただいている。これを今後どうするか検討し話も詰めていく。また、ゴミ出しのところで小野さんから日野市の活動の報告もいただいている。まず、29 年 11 月の協議体での介護支援ボランティアのポイント制のところだが、市の課題としては、施設のみが対象になっているということで、それを個人のボランティア活動にまで広げることを希望しているのか。

〇生活支援コーディネーター
個人も団体もそうですが、地域で活動しているボランティアがいる。例えば買い物支援に関しても、地域のボランティアも活動するわけで、そういう方達の地域での活動とか、百歳体操のサポーターも地域で活動しているので、そういう方達の施設外の活動に対してもポイント制度が付くようになると良い。

●委員長
それを協議体として市に提言してはどうかという案をいただいたということになる。どういうポイントの付け方をするか整理が出来てからではないか。登録をしてもらった個人の、変な話 5,000 円だけもらうような活動をする人が出てこないようなルール作りがまず必要。ポイントを申請すれば、すぐもらえると言うような話ではない。それをすぐ協議体として結論はでない。

〇生活支援コーディネーター
そういうポイントのルールとは、施設活動の中では無理があるのでそれに準じたものになる。地域でのボランティア活動をどこまで広げるかという問題はあるかと思うので、そこを協議してもらえるのか。

●委員
現在の成田市が取り組んでいるポイント制度というのは、施設でボランティア活動した時に協力して下さる施設があって、全部の施設でボランティアをしたらポイントが付くのではなく、了解を得た施設で活動したときのみに付く。先ほど言っていた 5,000 円は現金ではなかったと思うが。

〇事務局
いきなり現金になるわけではなく、施設でスタンプを押してもらい、スタンプが貯まってからそれを申請してもらって、ポイント数に応じて現金を支払う

ことになっている。ボランティアを受け入れる事業所・施設に市からスタンプを渡し、そのスタンプを扱っている事業所・施設を社会福祉協議会のボランティアセンターに予めお知らせする。ボランティアセンターで受け入れ施設はどこかボランティアに知らせ、それからボランティアと施設でやりとりをし、双方の要望を調整してから行くようになっている。地域のボランティアだと誰が確認をしてくれるかが検討課題になっている。

●委員
今、該当する事例は幾つくらいあるか。

○事務局
市内で申請して登録してある施設は 50 件前後ある。ボランティアは約 80 人程度登録している。

●委員
そうすると、小野さんが言われたような町のどこかでの事例はないということですか。

○事務局
今現在、検討している所はやはり団体になっていないと厳しい。市の内部で検討している中では、いきいき百歳体操。こちらの協力団体が各地域に 38 団体あり、そちらに来ているサポーターさんを念頭に置いて今現在検討している。予算の関係で、市の方でローリングという予算折衝が 6 月にあり、そこで予算折衝して始めて次年度の予算要求ができる。

●委員
コーディネーターさんと市と相談しながら形を作って我々の方に投げかけを。

○事務局
こちらの協議会に提案して意見をいただきたい。

●委員長
次の協議体ぐらいで話をしてないと間に合わないということですよね。

○事務局
そうです。来年度 4 月か 5 月に予定の 1 回目の協議体に提案させていただきたい。

●委員長
その時に色々資料も付けていただいて、ポイントのつけ方や今までのルールとか含めて。その施設自体の職員でないと、ボランティアとして登録されていないのか。

○事務局
ボランティアの登録は 2 つある。受け入れ施設側の登録とボランティアをするという方の登録がある。ボランティアの登録自体は、社会福祉協議会のボランティアセンターの方で登録いただく。あと事業所の登録自体は市役所で登録を受け付ける。

●委員長
施設が中心になって、例えば先ほどの木更津の中学校のゴミ出しボランティアをやり出したら、ポイントは施設について、例えばそのポイントでゴミ袋を買おうとか、そういう風に使っていく趣旨ではない。施設を中心に、その施設が地域の色々なボランティアをまとめてほしいという意味であれば、施設を活性化させたようなボランティア活動に持っていけば、この 5,000 ポイントの使い勝手は小野さんと同じような使い方ができるのではないか。

○事務局
ただ、今現在の介護ボランティア支援ポイント制度というのは、介護予防事業であり、ポイントがもらえるボランティアさんの条件が 65 歳以上である。本人のボランティアをすることによって社会に出てもらい、介護も学んでもらう。生きがいをもって働くことによって、介護予防をしてもらう。この 2 つの大きな目的があるので、生活支援を構築する目的とはそもそもこの制度が、創設した時の意味合いとは変わってきますので、そのへんの調整が必要である。

●委員長
小野さんが言っているのは地域のというところので、そこまで広げたらいいのではという話だが、今のポイントだと 65 歳以上ということで、そこに当てはまらない。

○生活支援コーディネーター
施設内のボランティア限定なので、施設外で色んなボランティア活動をしている方には対象にならない。施設に行ってボランティアをしないとポイントがつかない。

●委員長

その施設が周りの公園を掃除することに対して、ボランティアに行ったら、65歳以上であれば、ポイントが付くわけですよね。

●委員
私が思うのは、受け入れているAという施設があり、私が何かを活動しようとして行くとして、施設の行事に対してなので、ゴミ出しだろうが、本人の介助だろうが、その活動は問わないんですよね。施設側が活動してくれましたと認めたらスタンプを押してくれるように思うが。そうですよね。だからこれで謳っている地域の方がボランティア活動をした時にも応用できたらいいという話ですよね。私は今あるポイント制度と、このポイント制度は別にしてもらわないとちょっと混乱するかと思う。

○事務局
その通りで、今おっしゃられた事が一番のネックで、担当者が考え込んでおり、どうやって棲み分けをするか。後はどうやって財政当局を納得させるか。また、ポイントが地域に広がったときに誰が確認して、誰がスタンプを押すのかが、悩みのタネで検討している。

●委員長
そういう情報も含めて、次回出していただいて議論を進めていきたい。最後のゴミ出し支援の案はすごく参考になったが、講習会の名前は何でしょうか。

○生活支援コーディネーター
「ゴミ出しで支えあい」です。

●委員
ゴミ出しですけども、数人しか来てないと。多目的ホールは、100人以上入れるところですよね。どうして区長回覧でやってくれないのか。288地区ありますので、かなり周ると思う。今になって2、3人しか来てないとなると人集めはどうなるのか。

○生活支援コーディネーター
2月1日号の広報に出していただくのと、ミニコミ誌で出していただくのと、昨年までにボランティア養成講座に来ていただいた方に通知し、民児協や地区社会福祉協議会でチラシを置くなどしている。

●委員長
アンケートの報告も踏まえた市民フォーラムの企画案を資料に沿って説明。

また、第 1 部から第 2 部のフォーラムに繋げていくために、導入部分で使う資料をまとめた。この内容は成田市の協議体の説明をしていくスライドになる。第 1 層は何か、第 2、第 3 は何か、協議体は何か等々、地域包括ケアシステムとは何かというふうに市民フォーラムの導入をしていく。協議体の活動報告をして、委員の皆さんの紹介をさせていただく。この内容で第 1 部と第 2 部を構成して、当日のシンポジウム、市民フォーラムを考えている。この内容を認めていただければ進めていきたい。意見があれば。

●委員
　この中で、いきいき百歳体操が色んなところで出てきているが、同じようにまるごと元気体操というのがあり、同じ年齢の方がやっていると聞いているが、この辺はどうか。

○事務局
　介護保険課になるが、教室型の委託事業があり、そこで「まるごと元気教室」のネーミングで行っている。その中で、認知症予防とか運動機能、口腔というものをまるごと行うのがそのネーミングで、教室のタイトルになっており、そちらで教えていただいている体操になる。

●委員長
　市としてはなりたいきいき百歳体操の活動を進めていくのか。

○事務局
　体操自体はいろんな体操があって良いと思う。住民の方々が自分に合うものを選んで取り組んでいただくのが一番良い。今、市で取り組みを進めているのが、身近な地域で歩いて行ける距離のところで皆さん集っていただいて、地域ぐるみで健康増進、介護予防に取り組んでいただく。そういった意味で、百歳体操を推進している。その体操の指導は職員だけではできないのでサポーターさんを養成して、住民の方々にボランティアとして協力いただいて広げていこうという取り組み。先ほどボランティアポイントの対象にしてはどうかと話が出たのはそのサポーターさんのことである。

●委員長
　体操は調べてみて私の方でも紹介をしていきたい。まるごと元気体操とか成田市で取り組んでいる事業とかはあるか。ダンロップさんであるとか。

○事務局
　介護予防のいろんなメニューがあるので、それを先生にお伝えさせていただ

いて、その中でご紹介いただけるとありがたい。

●委員長
　今、取り組んでいるのがなりたいきいき百歳体操、スライド38にあるが、住み慣れた地域で住民主体で体操を行うと目標の 2 番に大きく書いてある内容を紹介していく。成田市の事業として行っているものは網羅して紹介できるようにやっていきます。

●委員
　受け付けは何時からでしょうか。

○事務局
　12時30分、開始の30分前には受け付ける。

●委員長
　広報も 2 月 1 日の広報なりたからスタート。では、この内容で市民フォーラムの方は準備を進めていきたい。本日の議題は全て終了しましたが、その他で何かあればご意見頂戴したい。市の方から何かありますか。

○介護保険課主幹兼係長
　今日は第 2 層の生活コーディネーターが来ておりますので、これまでの活動報告をしていただきたい。

●委員長
　では､第2層の大麻生活支援コーディネーターから活動報告をお願いします。

○生活支援コーディネーター（第2層）
　12 月までの活動報告を報告。民生委員、町内会長、高齢者クラブ、いきいきサロン、百歳体操、認知症カフェ、介護事業所などのあいさつ回りや、高齢者クラブの活動の方に足を運んで色々な参加者からお声を拾ったり、地域の課題について伺っている。地域にニーズとしては、買い物をするお店が 1 件もない地域があったので、アンケート調査を更に詳しく分析して、字別にどこの地区の住民が移動販売を望んでいるか、買い物ツアーが必要か精査していければと思う。
　今後の活動ですが、さりげない地元の活動の場に出向いて、皆さんのつぶやきのようなものを拾い上げて、地域に暮らしている一人一人の知恵・工夫とか特段気づいてないような、意識していないようなことでも支え合いがあり、そういうところを細かく丁寧に拾っていきたいと思っている。今年度中には支え

合いの活動をリストやマップにしたい。

●委員長
　ありがとうございます。ボランティアの活動を第 2 層と連携しながらやっていくといいですね。ポイント制の話と関係してくると思いますので。引き続き 2 層と連携できるか踏まえて検討をお願いします。それでは第 9 回の協議体は終了になります。

○介護保険課主幹兼係長
　本日の議論を踏まえまして、事務局の方で市民フォーラムの準備を進めていく。今年度の協議体の会議は日程の都合上、今回が最後になると思われる。新年度は 5 月頃を予定している。皆様には 3 月 2 日に行われる市民フォーラムの方に参加していただきたい。通知もさせていただきたいと思いますので、是非ご参加下さい。本日の会議の方はこれで終わりになります。皆様お忙しい中ありがとうございました。